

# 北海道天売高校 連絡船

## 第4号



### 7月は行事が盛りだくさんでした！学校だけではなく島全体が活気づく季節の生徒の様子を紹介します！

島に一番人が訪れる時期、7月。天売高校にも、続々と来客がありました。南こうせつさんが北海道中ひざくりげの取材で訪れ、7月中旬に放送されました。こういった事も天売島だからこそ。

## 水産実習③ウニ缶詰づくり ～天売の名産品加工に挑戦～

6月28日、7月4日、5日でウニ缶詰実習が行われました。材料は実習日の朝に水揚げされた天売のキタムラサキウニです。作業は、まずマキリ（アイヌ語で短刀、漁業用包丁のこと）を使ってウニの殻を割り、ウニむき専用の細長いスプーン状の器具を用いて丁寧に身を取り出し、



臓やトゲなどをきれいに除去します。その後、ウニの身を秤を使って同量ずつ缶に肉詰めし、製缶機で巻き締め密封した後、ボイラー・レトルト設備で加圧殺菌しました。2年生は手際よくウニむきを行い、1年生は初めての作業で慣れないながらも丁寧に取り組んでいました。缶を開いてみるまで、味見をすることができないので、どんなふうになっているか、作っている方も楽しみです。天売の美味しいウニをそのまま味わうことができるウニ缶詰は9月の天高祭などでお披露目できる予定です。

## 球技大会 ～親睦の和が広がる～

7月21日（金）の4・5校時に、第1回球技大会を実施しました。生徒会の生徒が種目や時間配分・チーム分けを考え、「ドッジボール」、「ミニバレーボール」の2種目と、競技の合間にレクリ



エーションとして「しっぽ取りゲーム」を行いました。「ドッジボール」では、アウトを恐れず、果敢にボールをキャッチ。積極的にプレイに興じていました。「しっぽ取りゲーム」

は必死にしっぽを奪おうと皆が真剣に。「ミニバレーボール」は、ラリーの応酬が続き、息を飲む試合展開が繰り広げられました。総合成績はBチームの勝利。けがもなく、生徒と職員との親睦が図れた有意義な球技大会となりました。

は必死にしっぽを奪おうと皆が真剣に。「ミニバレーボール」は、ラリーの応酬が続き、息を飲む試合展開が繰り広げられました。

総合成績はBチームの勝利。けがもなく、生徒と職員との親睦が図れた有意義な球技大会となりました。

## 生活体験発表校内選考会 ～これからの自分について～

7月24日（月）に、生活体験発表校内選考会を行いました。生活体験発表大会は、全国の定時制と通信制の高校に通う生徒がこれまでの体験に基づいた自分の想いを発表するもので、今年で61回目を迎えます。生徒は日々、成長しています。島での体験を通して、自分の生きていく上での意識変化につながるものを一つ取り上げ、発表しました。聞き手に何（テーマ）をどう伝えるか（方法・効果）を良く考え、仕上げることは今、教育で求められる能力の一つです。思いを伝えることは簡単な作業ではありません。それぞれに約一カ月かけて取り組みました。校内選考会には本校の3名の審査員に加え、外部審査員3名を迎えて行われました。また、島の人たちも十数人聞きに来てくださいました。緊張感の漂う中、生徒達は練習以上に自分の持てる力を発揮して、みな予想以上に立派な発表となりました。

来てくださった皆さん、生徒達に温かいご声援をいただきありがとうございました。



## 前期読書週間 ～本を読んで自己を高める～

7月3日（月）～7日（金）までの1週間、SHR後から授業開始前の20分間、読書を行いました。天売高校は生徒だけではなく、校長先生を含め教員も一緒に教室で読書を行います。今年度は読書週間中に2回ウニ缶詰実習が入りましたが、普段、読書の時間が取れない人も、よく本を読んでいる人も読書を楽しむことができました。読書

週間終了後のアンケートには、もっと本を読みたいという意見があり、読みたい本を選び自発的に読書するきっかけになったと思います。

## 学校開放講座 「カレイの投げ釣り仕掛け作り」 ～自分の想いが籠る力作～

7月9日(日)、本校の久保田教諭による釣り仕掛け講座の第二回目が行われました。タイトルは「カレイ投げ釣り仕掛けを作ろう」。御存じの方も多いかもかもしれませんが、カレイにはいくつかの種類があります。その特徴を図入りで、スクリーンを使って解説。よく店頭で見かける「宗八カレイ」をはじめ、「マコガレイ」「クロガシラガレイ」等の見分け方も伝授されました。街中では切り身や頭を落としたものがパック売りされていることが多いので、ラベルに書いてあるから種類がわかるという人も多いのではないのでしょうか。

「大物は40センチ以上」「50センチ以上は座布団ともいう」「基本、カレイは20センチ以下ならリリースを。ただし、マツカワカレイは王蝶と漢字で書くだけに別格。35センチより小さいものはリリースを。」といった釣りのマナーについても触れられました。自然との共存も意識できる良い機会です。

実際につくる仕掛けは、14号のライン(釣り糸)を使い、パロマーノット、エイトノットといった結び方の練習から入り、ビーズやパイプ、エッグボールなどを用い、各々大物が釣れることを想像しながら、センス良く仕上げた。参加者は「カ



レイの釣れる冬まで大事にとっておこう。どんなのが釣れるのか楽しみ。」と自作の仕掛けの完成度に満足していたようです。

なお、久保田教諭の釣り

仕掛け講座はこの回で今年度は終了。

後期の講座は数学や理科など、他の教員による講座が予定されているので、興味のある方は是非、高校までお問い合わせください。

## オープンスクール ～島によろこそ～

7月15日(土)・16日(日)、オープンスクールを実施しました。この行事は、生徒募集の一環として、中学生と保護者に本校そして天売島のことを知ってもらう目的で開催しています。今年

は島内外からの中学生4名と保護者2名が参加。まずは地域おこし協力隊の西井さんからカリキュラム等の学校説明があり、その後、水産実習(ウニ缶詰作り)を体験してもらいました。夜は観光バスに乗って海鳥のナイトウォッチングもしてもら



い、盛りだくさんの一日目でした。二日目は生憎の天候のため、予定を切り上げ、閉会式と海の宇宙館見学のみ実施。全てが予定通りに運ばなかったのは残念ですが、2日間の体験を終え、島外の参加者は大変満足した様子で島を後にしました。島内の中学生も最後まで参加してく



れて、協力してくれました。天売高校のやっていることは島外の人(札幌や関西圏、関東圏などの人たち)にはインパクトが強いようでとても驚かれます。毎回のことながら、都会の高校のように学校だけではなく、本校は島全体を見せるので、実施する上で、島の方々の御協力は欠かせません。今回も、野上旅館さんや天売観光バス、番屋、海の宇宙館、フェリーターミナルの方々をはじめ、多くの島民の方々に多大なご協力をいただき、本当にありがとうございました。島全体で高校を盛り上げていただくことは、島の将来に大きく影響します。これからも継続すべき行事の一つです。

## 天売学「天売の自然」 ～猫と鳥の命について～

7月1日に天売の自然に関する天売学が行われました。今回は北海道海鳥センターの石郷岡さんを講師に招き、天売の海鳥や人とネコとの共生について様々な体験活動を通して学びました。

最初はグループに分かれてウミネコの子育てを学ぶ体験活動を行いました。活動を通じて、ウミネコは親鳥が交互に餌を運んだり、魚とプラスチックの区別をつけられないことを学びました。その後、ネコの幸せを考えるカードゲームを行いました。ネコにとっての幸せが人によって考え方が違うことを知り、生き物の命を大切さについて、改めて考える機会となりました。楽しみながらも、今までとは違う視点で天売の自然を考えることができた有意義な時間となりました。



## 図書紹介 ～映画化された本から～

今回紹介するのは森見登美彦の「夜は短し歩けよ乙女」です。好奇心の塊で無邪気な「黒髪の乙女」と、彼女に片想いした「先輩」が不思議な事件に巻き込まれていく恋愛小説です。今年の4月にアニメ映画化され、「先輩」の声を星野源が演じたことで話題になりました。「先輩」の「ナカメ作戦(なるべく彼女の目にとまる作戦)」が成功するのか、最後まで目が離せない展開が気になって一気に読めてしまう作品です。

